

第1号議案 活動報告について

NPO法人ホッピング

令和3年度

(2021年10月1日～2022年9月30日)

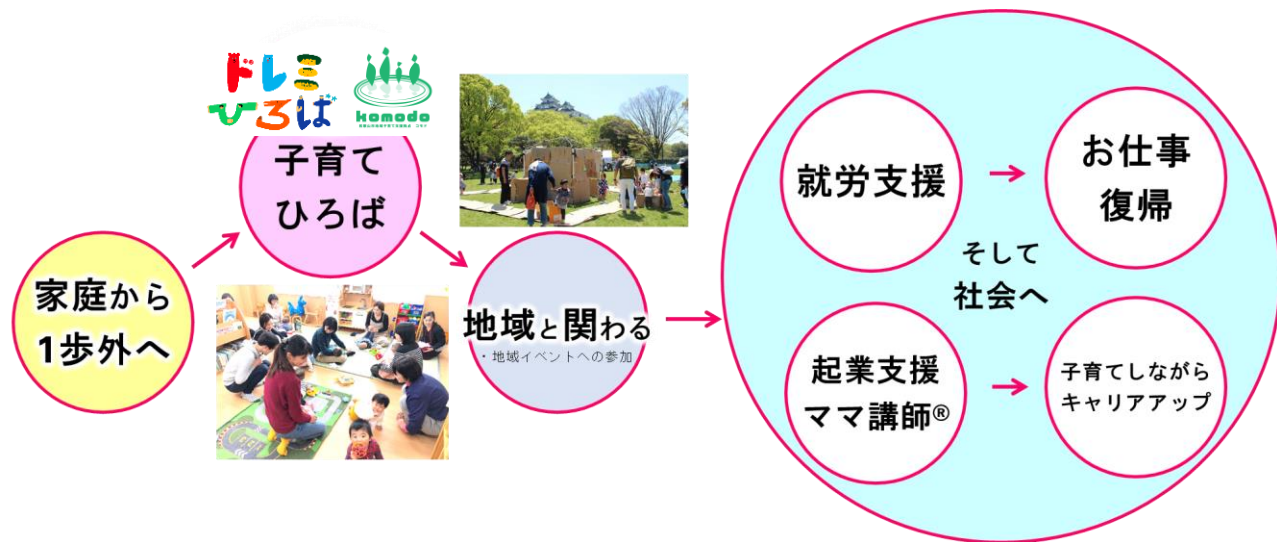
活動報告書



●ホッピングが目指す社会

私たちは、地域社会とママ達をつなぐ活動をしています。「家庭から地域へ」「地域から社会へ」と、ママたちがソフトランディングしていけるようにサポートをしています。

ママたちが「自分らしくいきいき」と社会へ戻っていけるような、子育てしながら社会参画できるような地域社会をめざし活動しています。



●ホッピングが行うこと

- 親子が気軽に集える広場の提供活動
- 子育て相談と情報交流活動
- 親子教室および講座の企画、運営事業
- 女性の就労支援事業（保活・両立支援）
- ママ講師®運営事業
- 養育支援訪問事業育児・家事援助業務（和歌山市より受託）
- 企業に向けた保活支援・定着支援サービスの提供

ママ達の社会参加からの社会復帰のサポートを継続的に行っていきたくと思っています。これらの活動は国連「SDGs（持続可能な開発目標）」で定められている目標にも合致します。子育て支援を通し、公共機関、他団体や民間企業とパートナーシップを組み、持続可能な地域社会を創ることを常に意識し、活動していきます。子育て以外の団体とも交わり、他団体との情報のシェアや協力をしていき、地域全体で子育て支援、ママ支援ができる環境作りを行っていきます。



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



● 親子が気軽に集える広場の提供活動

令和4年5月17日より和歌山市の委託を受け「地域子育て支援拠点事業」として「komodo(コモド)」を新たに開設いたしました。火～日曜日の週6日10時～16時まで開所、月曜が祝日の場合は開所しており、その次の平日がお休みになります。同施設内には「西保健センター」と「和歌山市民図書館 西分館」が併設されており、オープン当初よりたくさんの親子が来所しています。

平成27年4月より和歌山市より委託を受け企画運営している「ドレミひろば」は今期も継続して運営中。両施設ともに新型コロナウイルス感染予防対策を万全にしつつひろば開設を行っています。

【ドレミひろば来所数】

令和	3年4月～令和4年3月の期間	348組	年間延べ利用者数	5,541人
令和	4年4月～令和4年9月現在	265組	延べ利用者数	3,177人9月末

【komodo来所数】 ※令和4年5月17日オープン

令和	4年5月17日～令和4年9月現在	352組	延べ利用者数	3,754人9月末
----	------------------	------	--------	-----------

● 子育て相談と情報交流活動

【子育て相談】

・利用者さんとの日常の会話からくみ取れる相談だけに関わらず、コロナ禍ならではの『不安や悩み』『ママ自身のストレス』を抱えている方が多く、スタッフ間でそれぞれの情報を共有をしながら対応にあたりました。

【情報交流活動】

・初回来所の際や利用者との会話の中で必要とされている情報をくみ取りながら、ニーズに応じた相談窓口、施設やイベント等、様々な情報提供を行いました。

・サイズアウトして不要になったこども服を持ち寄り「おさがり交換会」なども開催しています。環境にも配慮したイベントということで、とても好評です。



おさがり交換会の様子



● 親子教室および講座の企画、運営事業

・新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み、一時はやむなく中止にもなりましたが、今年度も【ベビーマッサージ】や【えいごであそぼ!】、【お誕生日会】などの開設当初から需要の多い人気イベントを無事に開催することができました。

・地域のコミュニティセンターや公園に出向いて行う【とびだせ! ドレミひろば】【第1回 komodo杯 あかちゃんハイハイレース】など、親子で楽しめる様々な親子教室・講座を企画。講師には、外部より委託の講師のほか、ホッピング登録のママ講師®を起用しています。



おしゃべり広場ホッピングの企画運営

コロナ禍でなかなか子供を連れて遊びに行けない0～2歳未満のお子さんを持つ保護者を対象に、家族以外の方とおしゃべりしたくないですか？
 集まりが子どもと家にもっていきませんか？
 東京都内のお友達と保護者同士のおしゃべりの場を作りました

感染症の増加に伴いやむなく中止になった月や、ホッピング利用会員限定での開催月もありましたが、ほぼ毎月各コミュニティセンターなどをお借りして、ドレミひろば・komodo以外でも楽しんでもらえるよう手遊びや絵本の読み聞かせ、季節行事の工作をしたりしています。歯科衛生士による歯の相談会などもあり、参加の保護者には子育ての悩みを聞いたり話したり、気軽に雑談ができる環境で親子で遊んで楽しんでもらえる広場を開催しています。



2022年8月 おしゃべり広場ホッピング

家族以外の誰かとおしゃべりしたくないですか？
集まりが子どもと家にもっていきませんか？
東京都内のお友達と保護者同士のおしゃべりの場を作りました

☆タイムスケジュール☆
9:45～ 受付・自由遊び
10:30～ 手遊び
終わりのあそび
11:30～ ひらけました！

☆料金☆
300円
2人参加時は400円
※お申し込み必須、要予約

☆開催日時・場所☆
2022年8月 毎月30日(火)
9:45～11:30
和歌山コミュニティセンター 第一室
和歌山市中央1-1-2

NPO法人ホッピング
TEL 073-425-8789
HP <https://hoppingnana.com/>

「ホッピングのみんなで遠足に行こう！」開催

ホッピングの会員の皆様を対象に「ホッピングのみんなで遠足に行こう！」を開催しました。当初の企画では、消防局防災学習センター見学のあと和歌山城に移動して昼食をとり、絵本の読み聞かせや手遊び、動物園の見学、シャボン玉遊びなどもする予定だったのですが…当日は朝からあいにくの雨、残念ながら今回は消防局防災学習センターの見学のみとなりました。そんな中、11組32名のご家族にご参加いただきました。



4/24 Sun ホッピングのみんなで遠足に行こう!

家族みんなでおでかけしよう!

☆タイムスケジュール☆
10:00 集合(和歌山市役所前)
10:15～ 消防局防災学習センター見学(60分)
11:15～ 和歌山公園二の丸庭園に移動
写真撮影(集合写真・家族写真)
絵本の読み聞かせ
昼食自由時間
12:30～ 読み聞かせ、手遊びなど
13:00～ 動物園・園次解散

開催日時 2022年4月24日(日) 10:00集合
対象 今年度(2021年10月～)のホッピング会員登録者とその家族
定員 先着50名程度(大人・子ども合わせて)
参加費 無料(お弁当代別途) (お申し込み4/19日までに)
※雨天の場合は消防局防災学習センターの見学のみ実施
※イベント保険に加入します

お申し込みはホッピング公式LINEから
①お申し込み
②お申し込み完了
③当日集合

NPO法人ホッピング
〒640-8108 和歌山県和歌山市雑賀町58
TEL 073-425-8789 (月～金 AM9:30～PM3:00)
HP <https://hoppingnana.com/>

「初心者向け！子育てママのマネー講座」開催

アクサ生命保険株式会社様主催でホッピングが企画運営をし「初心者向け！子育てママのマネー講座」を二日に渡り開催しました。申込はすぐに満席になり、キャンセル待ちがでるほどの人気の講座でした。

子育て中のママ向けに、こどもの教育資金や老後にかかるお金についてのお話、投資や資産形成について、大切なお金の増やし方のコツを、とてもわかりやすくお話いただきました。ご参加いただいた皆さんは無料託児付きセミナーのため、子どもさんを預けて真剣にお話を聞いておられました。



「買のお金の育て方」をまなべる!!!

ママがうれしい3つの特典あり

参加費無料
お弁当付き

対象 0歳から12歳くらいまでのお子さまを子育て中の女性
初心者向け!!
[定員: 60名]

子育てママのマネー講座
～いま考えたい『教育資金』と『資産形成』～

講師 打田 真子
アクサ生命保険株式会社
2023年
開催日時 **9/9(木)・9/28(火)** 10:00～11:30
会場 和歌山市中央コミュニティセンター 活動室(2) (和歌山県和歌山市) 1日2回開催

特典
1. 無料お弁当付き
2. 参加費無料
3. 託児サービスあり

お申し込みはホッピング公式LINEから
LINE @hopping

主催 アクサ生命保険株式会社 MCVP推進部
企画運営 NPO法人ホッピング
TEL 073-425-8789
HP <https://hoppingnana.com/>

女性の就労支援事業（保活・両立支援）

●保活・両立相談を実施

【子育てママパパ個別相談】

子育て中のママパパを対象に対面またはオンラインでの個別相談を行っています。

育休復帰経験スタッフ、
キャリアコンサルタントがサポートしています。

- 就職活動の進め方
- 復職相談
- 保活相談
- 仕事と子育ての両立不安
- キャリアデザイン
- 夫婦問題

などについての相談に対応しています。

【企業様向けの保活支援・定着支援サービス】

ホッピングが企業と従業員の架け橋になり、
優秀な人材を継続して雇用できるようサポート。

- 保育施設の選び方やさまざまな預け先の情報提供
- 育児休暇中から復帰後も継続して個別相談を実施

保活支援・両立支援を同時に行うことにより、企業の「大切な人材の確保」をサポートします。



●保活支援のためのCheck list bookの提供

復職、再就職を目指す子育て世代にとって、避けては通れない「保活」。「保活」を始める時に、すべきこととタイミングが一目でわかるCheck list bookを1冊100円で販売しています。

「保活」に役立つ情報もたくさん掲載し、保育施設見学時に、チェック項目を書き込んでいける見学チェックシートが複数ページついています。保育施設を比較する際に役立てていただいています。



●和歌山県再就職支援センターにて

おしゃべり交流会の開催

(2021年10月～2022年9月まで毎月1回)

近い将来働きたいと考えている女性・子育て中の女性を対象とした情報交換・おしゃべり交流会を毎月実施しています。交流会と共にミニセミナーも企画・開催しており、ホッピング登録ママ講師®の活躍の場にもなっています。

見守り保育つきのリアル参加とZoom会議システムを使ったオンラインの同時開催を行い、感染症拡大を考慮し直近ではオンラインのみでの交流会を開催しました。

A colorful flyer for 'おしゃべり交流会' (Chatting Exchange Meeting). It features a pink and yellow color scheme and includes text such as '働き始める前のモヤモヤを楽しく解消しよう！' (Let's joyfully eliminate the 'moyamoya' before starting work!) and '毎月第3月曜日に開催' (Held on the 3rd Monday of each month). It also lists details like '時間: 10:30~11:30' and '参加費: 無料'.



ママ講師®とは

趣味・特技を活かして日々活動されているママをホッピング登録ママ講師®として登録。

「子育て中だって自分磨きをしたい!」「未来の私にプラスになる活動をはじめたい!」そんなママたちが集まる自助共助コミュニティです。

これから何か始めたい!というかたから、起業を目指す方まで、ステップに応じたサポートをしています。(2021年10月から2022年9月期 登録者数 48名)

1) プロフィールBOOKの作成

ママ講師®地域社会とを繋げるためのサポートとして、ママ講師®たちのプロフィール、写真、活動経歴、資格等を掲載して冊子にまとめて、行政・企業等に配布しました。



2) ママ講師®交流会の開催 (月1回)

いろいろなジャンルのママ講師®が集まって、意見交換や子育てしながらの活動の悩み相談など講師®同士の交流の場となっています。先輩ママ講師®からのアドバイスがもらえたり、交流会に参加することで仲間が増えたり、活動の幅が広がっていきます。状況に合わせリアル×オンラインで交流会を開催しました。



3) メールマガジンの配信、Facebookグループでの情報共有

月に1回から2回、事務局よりお仕事や子育てイベントなどの情報を掲載したメールマガジンを配信しています。ママ講師®だけが参加できるfacebookグループでは、講師®同士の情報共有、交流の場となっています。

4) ママ講師®の企業への紹介

行政、企業、グループからの要請に応じて、学習の場へ講師®として紹介しています。

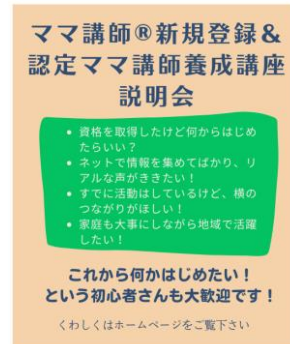
5) ママ講師®をYouTube動画で紹介

プロフィールBOOKでは紹介しきれないママ講師®達の活動内容、熱意や人柄がよく伝わるようにと講師®それぞれのインタビュー動画をホッピングチャンネルにて公開。



6) 認定ママ講師養成講座 開講

2021年10月～ママ講師登録システムがリニューアル!「認定ママ講師制度」が誕生しました! 毎月説明会を開催し、スタートアップ時や何か事業に行き詰った時に役立つ内容が盛りだくさんです。認定ママ講師養成講座はeラーニングでの受講となります。インターネット環境があれば、パソコン、スマホ、タブレットから、受講期間中は何度でも動画の視聴が可能です。受講者の好きな時間、隙間時間に24時間いつでも好きなペースで講座の受講が可能です。



「SDGs de 地方創生カードゲーム」体験会開催

「SDGs de 地方創生カードゲーム」

SDGs(エスディーゼイズ)とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。国連で合意された世界共通の目標です。カードゲーム体験会ではプレーヤーは街の住民と行政担当者です。互いに協力しながら街づくりをしていきます。「若年人口」、「経済」、「環境」、「社会」の4つの指標があり、人口が増えるプロジェクトを行わないと、人口が減少し、行政に入る税収も減ります。そうすると、住民は補助を受けにくくなり、プロジェクトの実施が困難になってきます。「どのようなプロジェクトを行うと若年人口が増えるか」を考えながらゲームを進めていきます。



SDGs de 地方創生公認ファシリテーターである理事長の貫名茜と和歌山県内で活動している公認ファシリテーターのみなさん、わかやま環境ネットワークの有志のみなさんに協力頂き、和歌山市立東和中学校の2年生の生徒さん4クラスを対象に「SDGs de 地方創生カードゲーム」を実施してきました。最初は戸惑っていた生徒のみなさんも、それぞれ声を出し合って白熱し、ゲームはあっという間にすすんでいきました。

- ・ プロジェクトを実行したいのに、若年人口が全然増えない!!!
- ・ 大型ショッピングモールを誘致したら経済のバロメーターが減ってしまった!!! なんで!?
- ・ もっと声をかけあえばよかった

なんて声もあり、生徒のみなさん、カードゲームを通して現実世界での課題を体感したようでした。SDGsの本質にもつながるのですが、ひとりの百歩ではなく、みんなの一歩。そんなことも体感してもらえたのではないのでしょうか。

お寺でNPOゲーム～地域活動はじめての一歩～開催

「NPOゲーム」

NPOゲームとは...「なにかやりたい! 地域のために!」と思った人が、仲間を集め、信頼を集め、団体を立ち上げ、共感を呼びながら事業を展開し、法人格を取得して人を雇用して...そんな疑似体験できるボードゲームです。

和歌山市鷹匠町にある一乗院さんにて「お寺でNPOゲーム～地域活動はじめての一歩～」を開催しました。和歌山県NPOサポートセンターのセンター長をお招きし「NPO」とはどんな団体? など、和歌山のNPOや地域活動の事などをお話いただき、その後ホッピング理事長貫名茜がコーディネーターとしてNPOゲームがスタートしました。

ゲーム終了後、みなさんの感想でも、1つ1つ実績を積んでいくこと、一人ではなく、互いに協力しあっていくことが大事だという事、周りから共感と信頼を得ることの重要性など...ボードゲームを通して学ぶことができました。



お寺でNPOゲーム
～地域活動はじめての一歩～

ゲーム活動後、地域で活動がしたい、ボランティアに繋がりたい、NPOでできることを学びたい、ボードゲーム「NPOゲーム」の時間を過ごしました!

わかやまのNPOで地域活動の話を聞きたかったら、ボードゲームを通して地域活動を感じませんか?

■日 時 2022年1月29日(土) 19:00-20:00
■場 所 NPO法人ホッピング 和歌山 鷹匠町
■主 催 和歌山県NPOサポートセンター
■協 賛 NPO法人ホッピング センター長
■協 力 和歌山県NPOサポートセンター
■協 賛 和歌山県鷹匠町NPOサポートセンター
■お問い合わせ 和歌山県鷹匠町6-16 一乗院 電話 073-423-0148

■お問い合わせ ハーリーデー公益財団 和歌山200からの声 電話 073-423-0148

QRコード: HOSSIPING, HOSSEKATE, AKANE

「自分らしく笑顔で毎を送るための講座」開催

和歌山市中央公民館さんと和歌山市男女共生推進課さん、そしてホッピングとの共催で「自分らしく笑顔で毎を送るための講座」全3回を和歌山市あいあいセンターにて開催しました。

第1回、2回目はホッピングママ講師®による託児付き整理収納講座「家族と暮らしを大切に作るお片付け」と、お子さんと一緒に楽しい時間を過ごす「クリスマス子どもリトミックコンサート2021」を、どちらもすぐに予約が満席になる大好評のイベントでした。残念ながら第3回目は染症拡大のため中止となりましたが、ドレミひろばなどでも人気のホッピングスタッフによる「手形アートで家族の思い出づくり」を開催予定でした。



自分らしく笑顔で毎を送るための講座

子育て中の方たちを応援する講座です！
家族の思い出となる手形アートを、お子様と一緒に作ってみませんか。
そして、家族の笑顔と手形アートづくりをとおして、ワークライフバランスがとれた時間の大切さを感じてみませんか。

テーマ
「手形アートで家族の思い出づくり」

令和4年 1月 22日 (土)
10:30~12:00

開催場所：和歌山市あいあいセンター6階ホール

※裏面にあいあいセンターの地図を掲載しています。

対象：未就学児のお子様とそのご家族

定員：10組(先着順)

講師：NPO法人ホッピングスタッフ

南多恵 松原 こずえ

申込期間：1月11日(火)~1月14日(金)

◆当日、材料費として500円が必要となります。

◆ペーパーの持ち込みは可能です。

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、手形についてはインクを使わず手形を画用紙で切りとったものでつくります。

※申込方法等については、裏面をお読みください。



共催：和歌山市中央公民館、和歌山市男女共生推進課、NPO法人ホッピング

和歌山食と暮らしプロジェクト

ホッピングでは、NPO法人わかやま環境ネットワークさんと一緒に、『和歌山食と暮らしプロジェクト』に取り組んでいます。「食」を中心としたさまざまな出来事をもとに「暮らし」を考えるヒントを共有していく...そんな取り組みをしていきたいと思っています。その中の取り組みのひとつ「食ロスモニター」のみなさんと「食と暮らしの座談会」を定期的開催。食の消費に関するモニター調査では、モニターの皆様に、どのような食品をどれくらい入手されているのか、消費されているのか、そしてどれくらい廃棄されているのか、毎月の調査期間になりましたらLINEで報告してもらっています。毎回の座談会では、モニターを通して見えてきたこと、感じた事、こんなときはどうしてる?など...みんなで楽しくお話ししながら共有しています。

【余りものdeおいしく料理講習会】

家に余りがちな行き場を失った、食品ロス食材を活用した料理教室を開催しました。ホッピング登録ママ講師®がレシピ考案と、料理教室の講師を務め、少しあまったきのご類を炒めて、冷蔵庫の奥でつい忘れがちな納豆を利用したスープに。使いきれなかった餃子の皮に、チーズやジャムなどを包んで焼くと、子どものおやつや夜食になりそうな一品が完成。どれもとても簡単ですぐにできていました。



【てとこと市とのコラボ企画に出店】

「ほかさず」楽しむ「ほかす」とこでクレヨン作り」では、賞味期限のきれた調味料などを使ってクレヨンを作るところを実演&お絵かき体験。「ほかす」とこで土づくり」では、かばん型のコンポストを実際に見てもらいました。「ほかさず」おさがり交換会」は、すぐにサイズアウトすることも服を必要とする人へ寄付したり欲しい服と交換したり。カードゲーム「食品ZEROマスター」で学ぶ食品ロスの問題がどのように私たちの生活に関わってくるのか...カードゲームを通して楽しく学べます。いろいろ見て、体験してもらって、「食と暮らし」について...これからも考えていただけたらと思います。



男性子育て推進事業（和歌山市より委託）

【目的】

社会全体で子育てを応援する仕組みづくりを構築するため、男性の育児・家事参画を推進する事業を実施し、子育てしやすい環境整備の充実をはかることを目的とする。

【業務内容】

「夫婦で子育て、みんなで子育て」をテーマに、夫婦・パートナーがお互いの立場について理解を深め、チームとして子育て・家事・仕事に挑む関係を築くきっかけとなる内容を学べるワークショップを3回開催

9月17日・・・子育てを通して考える「防災×夫婦のパートナーシップ」佐道さんご夫妻講師



10月16日・・・パパと一緒にわくわく料理体験！石窯ピザをつくろう！



11月20日・・・ともにこそだて「トモダテ教室」開催予定

和歌山市より依頼を受け、委託実施計画に基づいて育児援助・家事援助が必要な家庭にヘルパーとして訪問しています。

ご寄付の活用について

2) 2022年4月 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによるご寄付

全国のイオンで開催されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に2016年度より参加させていただいています。

イオン様がされている社会貢献のひとつで、毎月11日、お買い物の際に発行される黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXにいれると、レシート金額の1%がイオンさんから団体に寄付していただける。という仕組みになっています。

いただいた寄付金は「和歌山市地域子育て支援拠点ドレミひろば」で使用するおもちゃや備品の購入にあてさせていただきます。

